

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【公表番号】特表 2005-527048(P2005-527048A)

【公表日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【年通号数】公開・登録公報 2005-035

【出願番号】特願 2004-508087(P2004-508087)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/044 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

H 0 1 H 36/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/03 3 3 5 E

G 0 6 F 3/03 3 1 0 C

G 0 6 F 3/033 3 6 0 D

H 0 1 H 36/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 17 日 (2006.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板上に配置されたものであって、タッチ場所でタッチ物体に容量結合を行うための主要な信号担体として動作する実質的に透明な導電性高分子を含むタッチ領域と、

前記導電性高分子上に配置された複数の端子を電源に接続し、前記導電性高分子との容量結合により前記端子を流れる電流から、前記タッチ場所を特定するように構成された回路

とを含む容量性タッチスクリーン。

【請求項 2】

前記導電性高分子が前記タッチ領域内の唯一の透明な導電素子である請求項 1 に記載の容量性タッチスクリーン。

【請求項 3】

前記導電性高分子上に保護被膜をさらに含む請求項 1 に記載の容量性タッチスクリーン。

【請求項 4】

前記保護被膜が、前記タッチ物体と前記導電性高分子との間において誘電層として機能する請求項 3 に記載の容量性タッチスクリーン。

【請求項 5】

前記導電性高分子が置換ポリチオフェンを含む請求項 1 に記載の容量性タッチスクリーン。

【請求項 6】

前記基板が硬質基板である請求項 1 に記載の容量性タッチスクリーン。

【請求項 7】

前記基板が可撓性基板である請求項 1 に記載の容量性タッチスクリーン。

【請求項 8】

前記基板が、前記タッチ物体と前記導電性高分子との間において誘電層として機能する請求項 1 に記載の容量性タッチスクリーン。

【請求項 9】

前記タッチ領域が実質的に均一な抵抗を有する導電性高分子の連続したシートを含む請求項 1 に記載の容量性タッチスクリーン。

【請求項 10】

前記タッチ領域が導電性高分子のパターンを含む請求項 1 に記載の容量性タッチスクリーン。

【請求項 11】

前記導電性高分子のパターンが複数の平行なセンサーを含む請求項 10 に記載の容量性タッチスクリーン。

【請求項 12】

前記タッチパネルが前記タッチ領域内に実質的に均一な電流密度を生じる形状を有する請求項 1 に記載の容量性タッチスクリーン。

【請求項 13】

前記導電性高分子に隣接して配置されかつ前記タッチ領域を取り囲んだ線形化パターンをさらに含む請求項 1 に記載の容量性タッチスクリーン。